



学校だより第6号

令和7年9月30日

発行

大阪市立大開小学校

一秒後、世界が変わる

秋分の日も過ぎ、秋の訪れを少しずつ感じるこの頃になってまいりました。とはいえ、まだまだ暑い日も多く熱中症には十分注意をしながら、運動会に向けて練習に取り組み始めました。10月26日当日は、保護者の皆様をはじめ、子どもたちを取りまく方々のお力をお借りして、子どもたちにとって充実した運動会となるよう進めてまいります。是非、子どもたち一人一人の頑張りに大きな声援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

9月13日から21日までの9日間、東京で「第20回世界陸上競技選手権大会」が開催されました。日本で世界陸上が開催されるのは3回目（1991年東京・2007年大阪）ですが、2021年東京五輪・パラリンピックで無観客だった国立競技場に、連日大勢の観客が訪れ、約200の国や地域から集結した2000人を超えるトップアスリートたちに声援を送りました。世界陸上のキャッチコピーは「一秒後、世界が変わる」、この言葉通り、わずか1秒の間に勝負が決まり、記録が生まれる陸上競技には、躍動感と緊張感が凝縮されていました。

この世界陸上を通して、子どもたちは何を考え、どのようなことを感じたのでしょうか。勝利の喜びだけでなく、惜敗しても最後まであきらめずに走りきる姿、自己ベストを目指して努力を重ねる姿は、子どもたちにとって大きな刺激となったことでしょう。スポーツは、基礎体力や筋力を高めるだけでなく、集中力や協調性、チャレンジ精神などを身につけることができます。また、仲間と協力し合ったり、思いやりやマナーを身につけたりする場面も多く、新しい技に挑戦する経験を通して、自信を深め、自分で考える力や行動力を養うことができます。

学校でも、日々の学習や運動、様々な行事等を通して、子どもたちが目標に向かって努力し、学級や学年、学校のみならず協力し、挑戦することの大切さを学べるよう教育活動を進めてまいります。世界陸上という大きな舞台で輝いた選手たちの姿を胸に、子どもたちがそれぞれの目標に向かって一步一步前進できるよう、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

